

# 審判研修 道外派遣参加報告書

大会名 平成26年度関東学生バスケットボールリーグ	期間 26年 9月27日(土)～ 9月28日(日)
開催地 東京都	会場 順天堂大学・代々木第二体育館
参加者 鈴木 悟	所属地区名 札幌地区
実践実技1	
日付け 対戦カード 相手審判 ゲーム前のカンファレンス内容など	
26年 9月27日 (土)	対戦カード 女子1部 白鷗大学 vs 拓殖大学
主審 ・ <u>副審</u>	相手審判 小坂井氏(神奈川県)
ゲーム前のカンファレンス内容	
・エリアの確認。 ・早い段階での基準作り。 ・1つのプレーで面が変わる場合の引継ぎについて確認した。	
ゲーム後、講師(主任)からのアドバイス	
※清水 幹事 氏 ・2Q終盤から3Qの前半にかけて、基準が多少ぶれていた。ショットに対して軽い接触であったが、抜かれ際に悪い位置からの接触であれば判定しなければならない。逆にコンタクトは大きくてもオフェンスのファンダメンタル的なミス(パスミス)が原因での接触についての判定が甘かった。 ・終盤の大事な場面での判定は的確であった。	
ゲーム感想	
大学女子のゲームであったが、強いコンタクトが至る所で起こって、2人のエリアの分担をしっかりと行うことが重要であった。ゲーム終了後のミーティングであったように、2Qからの判定には反省している。プレーの勝ち負けを含めた判定を今後より勉強しいかなければならいと感じた。	
実践実技2	
日付け 対戦カード 相手審判 ゲーム前のカンファレンス内容など	
26年 9月28日 (日)	対戦カード 男子1部 専修大学 vs 筑波大学
主審 ・ <u>副審</u>	相手審判 石田氏(東京都)
ゲーム前のカンファレンス内容	
・自分のエリアの見えた現象をしっかりと判断していくこと。 ・見えなかった現象について無理に判定するのではなく、見える位置に移動することを心がける。 ・役割分担・協力をしっかりとっていくこと。	

## ゲーム後、講師(主任)からのアドバイス

※阿部 聖 氏

- ・プレイが終わっている現象に対してファウルの判定をしていることがある。
- ・判定する位。特にトレイルの位置を下げて判定した方がよい場面があった
- ・動きながらの判定時に確認不足のものが、違和感のある判定とつながっている。

## ゲーム感想

両ゲームとも僅差の好ゲームであった。試合自体は大きなもめ事があったわけではないが、これらのゲームを主審として運営するためには、まだまだ課題が多くあると感じた。各講師からのアドバイスにもあったように、バスケットボールの本質をもっと勉強する必要があると感じた。選手やコーチ、観客が何を求めているのかをい感じる必要性とそれらをルールブックに照らし合わせて判定する。これを今後の課題と目標にしていきたいと考えている。

## まとめ

このような機会を与えてくださった、北海道バスケットボール協会ならびに札幌地区の皆様には感謝いたします。ありがとうございました。